

生物資源経済研究

No. 19

2014年

- カンボジアにおける稲作の国際競争力と米輸出拡大の可能性
..... 福井 清一・中尾 文哉 (1)
- アジア太平洋地域における中国産林産物貿易構造とその規定要因
— アジア国際産業連関表に基づく分析 —
..... 加賀爪 優・ロシヤングリ ウフル・波多野佑美 (13)
- 輸入自由化後の中国大豆需給変化とその将来の見通し
— 大豆関連政策の問題点と今後の改善方向 — 沈 金虎 (33)
- キリマンジャロにおける農林畜複合経営と材木ビジネスの実態
— 私的価値と社会的価値を重ねる森林再生への道筋 — 辻村 英之 (59)
- 六次産業化を駆動する農企業戦略論研究の課題と展望
— ガバナンスとコンフリクトを基調として —
..... 小田 滋晃・長命 洋佑・川崎 訓昭・長谷 祐 (73)

『生物資源経済研究』規定

1. 投稿資格・著作権・編集要領

- 1) 単著論文の投稿資格者は、生物資源経済学専攻（以下、専攻と略記）教員、本専攻在籍中ないし在籍後5年以内の内地研究員・外国人招聘学者・外国人共同研究者、および編集委員会にて認められたものとする。なお、別途定める『生物資源経済研究』内規に基づき、本専攻の院生（およびこれと同等以上と認められる者）も、専攻会議の了承のもとに投稿できる。
- 2) 共著論文の第一執筆者は本専攻教員に限定するものとする。
- 3) 著作権：本誌に掲載された論文・抄録の著作権は、本専攻に属するものとする。なお執筆者自身が自らの論文を利用することは差し支えないものとする。
- 4) 原稿の採否の決定：原稿の採否は、複数査読にもとづき編集委員会が行うこととする。採用決定日をもって受理日とする。
- 5) 発行回数と別刷り：年1回発行を原則とする。別刷りは各原稿当たり50部まで無料で著者に贈呈し、それ以上は著者の実費負担とする。
- 6) 著者校正：著者校正は原則として2回行う。誤植以外の加筆・修正はできないこととする。

2. 執筆要領

- 1) 原稿種別は論文と研究ノートの2種とし、投稿者は投稿時に種別を明記する。
- 2) 原稿枚数は、図・表を含め、和文の場合は横書き400字詰め原稿用紙換算で50枚以内、英文の場合は、A4用紙にダブル・スペース（28行、1行10～15単語）で30枚以内を目安とする。和文の場合は英文抄録（300単語以内）と英文題名を、英文の場合は和文抄録（800字以内）と和文題名を投稿時に添付する。原稿は完成原稿とそのハード・コピー2部を、データ・ファイルを添付の上で、編集委員長ないし副委員長に提出するものとする。
- 3) 特殊な専門用語・学術用語のほかは、原則として新仮名遣い・常用漢字を使用する。
- 4) 論文の節項表示は、1. (1)、1)、a のようにする。
- 5) 単位は%、kg、haなどの略号を用い、数字は5億6,728万などと表す。
- 6) 図表は、図1、表1（Fig1. Table 1）のように示す。また図表の挿入位置については、完成原稿の右余白に朱書きで明示する。
- 7) 本文注記は各頁ごとではなく本文末尾に一括して掲載する。また引用文献は注記を原則とし下記の要領によるものとするが、各分野学会誌の様式に準じた表記も認める。
 - 1) 和文の場合
 - a. 著者名『書名』（シリーズ名）、出版社、出版年（奥付けによる）、ページ。
 - b. 執筆者名「論文名」、編著者名『書名』（シリーズ名）、出版社、出版年、ページ。
 - c. 執筆者名「論文名」、『雑誌名』巻号（年月）、ページ。
 - 2) 欧文の場合
 - a. 名頭文字・姓、書名（出版他：出版社、出版年）、p.（またはpp.）
 - b. 名頭文字・姓、「論文名」、雑誌名、巻号（月、年）、p.（またはpp.）

付 記

- (1) 本規定の改正は専攻会議の承認を得なければならない。
- (2) 本規定は平成7年9月14日より実施する。
- (3) 本改正は平成13年7月31日より実施する。
- (4) 本改正は平成17年2月1日より実施する。
- (5) 本改正は平成20年1月1日より実施する。

執筆者紹介 (掲載順)

| | |
|------------|---|
| 福井 清一 | 京都大学農学研究科生物資源経済学専攻 (国際農村発展論学分野) |
| 中尾 文哉 | 京都大学農学研究科生物資源経済学専攻 (国際農村発展論学分野 M1) |
| 加賀爪 優 | 京都大学農学研究科生物資源経済学専攻 (地域環境経済学分野) |
| ロジャングリ=ウルフ | 新疆師範大学 |
| 波多野佑美 | 京都大学農学研究科生物資源経済学専攻 (地域環境経済学分野 D2) |
| 沈 金虎 | 京都大学農学研究科生物資源経済学専攻 (地域環境経済学分野) |
| 辻村 英之 | 京都大学農学研究科生物資源経済学専攻 (農業組織経営学分野) |
| 小田 滋晃 | 京都大学農学研究科生物資源経済学専攻 (農業情報会計学分野) |
| 長命 洋佑 | 京都大学農学研究科生物資源経済学専攻 (「農林中央金庫」次世代を担う農企業戦略論講座) |
| 川崎 訓昭 | 京都大学農学研究科生物資源経済学専攻 (「農林中央金庫」次世代を担う農企業戦略論講座) |
| 長谷 祐 | 京都大学農学研究科生物資源経済学専攻 (日本学術振興会特別研究員 DC) |

『生物資源経済研究』第19号の編集を終えて

『生物資源経済研究』には、専攻の教員それぞれが強い思いを持っていると思う。もともと『農業計算学研究』として出発した本誌は、専攻が生物資源経済研究専攻となるのに対応して、専攻の全教員の最前線の研究内容を発表するという性格をもったものであった。研究室の一年の研究の成果を、何らかの形で内外に発信し、それが同時に専攻内部の教員の共同研究の可能性へと発展していくことも重要な役割であった。本誌にも、学界を先導するような論文がいくつも掲載されてきた。しかし、昨今は大学院生の発表をも認める方向で検討され、またそれを認めるようになってきている。タイトなスケジュールの中で、どのように雑誌を編集していくかが、再び問われてきている。既成の学会誌の枠組みにはめ込みきれない大胆な議論や、圧倒的な量を必要とする論文、分野を超えた問題提起となる論文等を掲載することが、実は本誌の重要な役割であると、わたし自身は考えている。

平成26年3月1日

編集委員長 末原 達郎

『生物資源経済研究』第19号編集委員 (五十音順)

浅見淳之 足立芳宏 小田滋晃 北野慎一 (副委員長)
栗山浩一 末原達郎 (委員長) 沈 金虎 辻村英之

生物資源経済研究 第19号

2014年3月15日 印刷

2014年3月25日 発行

編集 京都大学大学院生物資源経済学専攻
生物資源経済研究 編集委員会

電話 075-753-6201

発行 京都大学大学院生物資源経済学専攻
〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

印刷 創文堂印刷(株)

The Natural Resource Economics Review

 No. 19

 2014

- A Study on Global Competitiveness and Export Expansion of Cambodian Rice
 Seichi FUKUI and Fumiya NAKAO (1)
- China's forest products trade and its influencing factors:
 A structural analysis based on the Asian International Input-Output Table
 Masaru KAGATSUME, Roxangul WUFUR and Yumi HATANO (13)
- Changes after Import Liberalization and the Future Outlook of China's
 Soybean Market Jinhu Shen (33)
- Agrosilvopastoral Compound Farming and Forestry Business in
 Mt. Kilimanjaro: Towards Forest Restoration through Crossover between
 Private Value and Social Value Hideyuki TSUJIMURA (59)
- Outlook for Innovative Research on Agricultural Networks
 -From the Viewpoint of Governance and Conflict-
 Shigeaki ODA, Yosuke CHOMEI,
Noriaki KAWASAKI, Tasuku NAGATANI (73)